




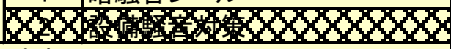





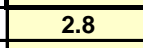

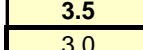










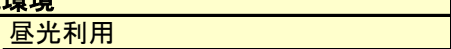
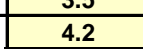

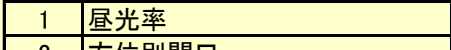


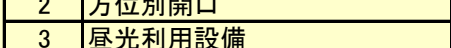
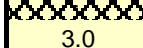






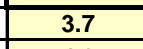









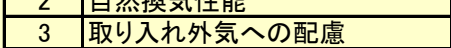
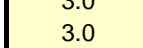





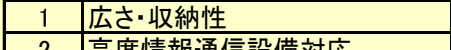
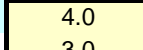

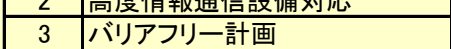
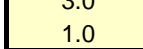





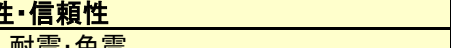
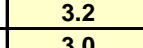














CASBEE-広島 (2010年ver.1)
トヨタカローラ広島・ネットヨタ中国新本社

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.4
Q1 室内環境			0.34					3.2
1 音環境		3.0	0.15		-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00		-			
			-		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		3.0	0.20		-			
2 温熱環境		2.8	0.35		-			2.8
2.1 室温制御		3.5	0.50		-			
1 室温設定		3.0	0.38		-			
			-		-			
3 外皮性能	主な外壁:断熱サンドイッチパネル、開口部:複層ガラス(一部Low-E)の採用。	5.0	0.25		-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
			-		-			
			-		-			
			-		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-			
2.3 空調方式		3.0	0.30		-			
3 光・視環境		3.5	0.25		-			3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30		-			
1 昼光率	昼光率2.74%確保。	5.0	0.60		-			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-			
			-		-			
2 昼光制御	事務室の主な開口部(北西面)には、3m程度の屋根の持ち出しと袖壁による庇効果。	4.0	1.00		-			
3.3 照度		2.0	0.15		-			
1 照度		2.0	1.00		-			
			-		-			
3.4 照明制御		3.0	0.25		-			
4 空気質環境		3.7	0.25		-			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	仕上材は、下地ともF☆☆☆☆を採用。	4.0	1.00		-			
			-		-			
			-		-			
4.2 換気		3.0	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-			
			-		-			
4.3 運用管理		4.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-			
2 喫煙の制御	店舗部分は客用喫煙室を設置。事務所部分は、6階屋外部分に喫煙コーナーを設置。	5.0	0.50		-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		3.3	0.40		-			3.3
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.52		-			
1 広さ・収納性	事務所エリア、会長・社長を除く86人に対し、805.92㎡の執務スペース→9.37㎡/人。	4.0	0.33		-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.36		-			
1 広さ感・景観	事務室の天井高2800。外壁側はできるだけ窓を設置。店舗の天井高4000。	4.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース	5階にリフレッシュスペース(多目的スペース)及び6階に喫煙コーナー(屋外)の設置。	4.0	0.33		-			
3 内装計画	テーマ:木をとりこんだ温かみのある内装。パースにより、照明計画や素材等と合わせて検討。	4.0	0.33		-			
1.3 維持管理		4.0	0.11		-			
1 維持管理に配慮した設計	内装、外装共、維持管理に配慮した設計。	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保	十分な倉庫やゴミ置場を設置。	4.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31		-			3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	金属パネル、アルミサッシ、アルミカーテンウォールの採用。	5.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主な仕上げ 床:タイルカーペット、ビニルタイル、壁:ビニルクロス、天井:岩綿吸音板、化粧石膏ボード	3.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:VLP(B種)、排水管:VP(B種)	4.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.4 信頼性			3.4	0.19			
1	空調・換気設備	配管、ダクトは耐震支持、災害時対策本部室の空調は単独系統且つ非常電源あり	3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電機を備え、洪水対策として変電設備が6階に設けられている。	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	光及びメタルの通信回線とし多重化を図り、通信主要機器は5階に設けられている。	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.7	0.29			3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31			
1	階高のゆとり	事務所:4.5,6階4m以上、店舗:1階6m以上	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.13	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.6	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性	排水管の床・梁貫通部はスリーブ、給水管は梁下配管	4.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性	天井内及びシャフト以外の隠蔽部は全て配管対応としている。	5.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース	6階屋根2部の将来スペース及び、1階南側の空地。	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.36			3.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		広島市都市美協議の基準を満足。道路境界側を積極的に緑化。	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30			4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	附置義務台数を大きく上回る駐車台数の確保。ピロティやテラスを計画。	5.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	広島市緑化基準を満足。1階の多くをピロティとして計画。	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.9
LR1 エネルギー			-	0.40			4.0
1 建物の熱負荷抑制		PAL値270以下。	4.0	0.11			4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.25			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ERR=27.2	5.0	0.38			5.0
4 効率的運用			3.5	0.25			3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	竣工時に運用と管理及び長期修繕計画を提出。	4.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.9
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	洗面器は自動水洗、小便器は自動FV、女性ブースに擬音装置を設置。	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.63			4.0
2.1	材料使用量の削減	CFT柱、大梁水平ハンチの採用	3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント	4.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	床:フロアリウムマープル/東リ、床:GA8800EM/東リ、天井:ダイロートン/ダイケン	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア、移動式間仕切りの採用。	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22			4.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない材料を2項目使用。	4.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68			
1	消火剤	駐車場には泡消火を設置	4.0	0.33			
2	断熱材	ノンフロン現場発泡硬質ウレタンフォーム(ODP=1、GWP=1)を採用。	5.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.7
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2量が一般的な建物の71%。ERR=35.1%	4.4	0.33			4.4
2 地域環境への配慮			3.6	0.33			3.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		夏季の卓越風を考慮した建物配置。ピロティや透水性インターロッキングの採用。	4.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	附置義務を大きく上回る駐車台数の確保。荷捌き用駐車場の設置。	5.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-			
1	騒音		-	-			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.3	0.67			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照阻害の抑制	1ランク上の4時間/2.5時間の日影規制を満足。	4.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.33			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			